

10月19日（月）全校朝会

まず初めに、元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。今日は、「交通ルールを守りましょう」というお話をします。

先週、地域の方から「北ノ台小の子供たちの登下校がひどい」という話を聞きました。学校に行くときや帰るとき、横に広がって歩いたり、追いかっこをしたり、道路に飛び出してしまったり、お店の駐車場に入ってしまったたりしている人がずいぶんいるようです。また、信号が点滅しているにもかかわらず、走って渡りだす人もいるとのことでした。その方は、「子供たちがいつか車にひかれてしまうのではないかとひやひやしているんです。」とおっしゃっていました。



校長先生はこの話を聞いて、「本当にそんなにひどいのかな？」と心配になって、皆さんの下校と登校の様子を見に行きました。これが、その時の様子の写真です。道路いっぱい広がって歩いている人や、追いかっこをしている人、歩道があるのに車道を歩いている人が何人もいました。地域の方が言っていたことは本当だったのですね。

さて皆さん、交通ルールを守らずに、道路に飛び出して車にひかれたらどうなりますか。けがをしますよね。場合によっては命を落とすこともあります。命を落としてしまったら、困りますよね。誰が一番困りますか？本人ですか？本人はもう死んでしまったから何も分かりませんね、家族でしょうか、もちろん家族は悲しむでしょうね。ですが、困る人が他にいるんですよ。それは、車を運転していた人です。たとえ、子供がルールを守らずに急に飛び出てきたのだとしても、車を運転していた人は、人を殺した罪になってしまうのです。そうすると、当然刑務所に入ることになりますし、刑務所から出た後も、その人は生きての間一生、「人を殺してしまった」という事実を抱えて生きていかなければならないのです。想像してみてください。これはとても辛いことですよ。

おうちの方が、「車を運転するよ」という人いますか？結構いますよね。お父さんやお母さんが運転する車に、子供たちが飛び出てきて、死んでしまったら……。お父さん、お母さんが人を殺してしまった犯罪者になってしまうのですよ。こんな悲しいこと、辛いことはないですよ。

歩道を歩く、せまい道では縦に並んで歩く、信号が点滅していたら渡らないなど交通ルールを守って、自分の命を大切にしましょう。そして、自分の周りの車を運転する人や自転車を運転する人のことも考えてくださいね。

今日は、登下校のときに「交通ルールを守りましょう」、というお話をしました。お話を終わります。気を付け、礼。